

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 2』評価計画(案)

2年 p. 4~5

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈導入〉 「朝のリズム」  (随時扱い)	(1) 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴きながら、声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム打ちしたりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
	思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴きながら、声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム打ちしたりする技能を身に付けている。		○				
	(2) 旋律やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	旋律やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○			
(3) 歌に合わせてリズムを打つことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽を愛好する心情を育む。	主体的に学習に取り組む態度	歌に合わせてリズムを打つことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

○=本評価規準例における中心的な項目

学習の流れ／【学習活動に即した評価規準例】
<p>1. 曲の気分を感じ取る。 【主-①】「朝のリズム」の歌に合わせてリズムを打つことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>2. 歌詞唱する。 【思-①】「朝のリズム」の旋律やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。</p> <p>3. 歌詞の情景や気持ちを思い浮かべながら歌う。 【知-①】「朝のリズム」の曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。</p> <p>4. リズムにのって、体のいろいろな部分で音を出しながら歌う。 【技-①】思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴きながら、声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム打ちしたりする技能を身に付けている。</p>

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 2』評価計画(案)

2年 p. 6~7

(コーナー名) (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
(スキルアップ) 手びょうしりレーであそぼう (毎時扱い)	(1) 手拍子による様々な音の特徴に、それらが生み出す面白さなど関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付ける。	知識・技能	手拍子による様々な音の特徴に、それらが生み出す面白さなど関わらせて気付いている。			○	
			発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付けている。			○	
	(2) 強弱、タイミング、打つ回数、音色などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得る。	思考・判断・表現	強弱、タイミング、打つ回数、音色などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。			○	
	(3) 手拍子で様々な表現をする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、身の回りの様々な音や音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	手拍子で様々な表現をする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			○	

○=本評価規準例における中心的な項目

学習の流れ／【学習活動に即した評価規準例】
1. 全員で一斉に手拍子をする。(一斉に1回手拍子をする、先生の拍に合わせて手拍子をする、8回手拍子をする、なるべく大きく手拍子をする、なるべく小さく手拍子をする など) 【知-①】 手拍子による様々な音や表現の特徴に、それらが生み出す面白さなど関わらせて気付いている。 2. みんなで輪になって手拍子リレーをする。(一人1回ずつ打つ、速さを変える、間を開ける、打つ回数を変える など) 【技-①】 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付けている。 【思-①】 強弱、タイミング、打つ回数、音色などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。 3. みんなで輪になって、小物打楽器でリレーをする。 【主-①】 手拍子で様々な表現をする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 2』評価計画(案)

2年 p.8～15

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例	歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞	
1 強さとはやさ (7時間扱い・4～5月)	(1) 曲想と、強弱や速度、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と、強弱や速度、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			○
			思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 強弱や速度、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	強弱や速度、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりしている。	○			○
	(3) 強弱や速度の変化、反復や呼びかけとこたえに気付いて歌ったり聴いたりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、遊び歌に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	強弱や速度の変化、反復や呼びかけとこたえに気付いて歌ったり聴いたりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	曲想と、強弱や速度など音楽の構造との関わりに気付くとともに、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の楽しさを見いだして聴く。	◎「天国と地ごく」から ほか	○「天国と地ごく」から と、「かめ」を、体を動かしながら、強さや速さに注意して聴く。 ○「山のま王のきゅうでんにて」を、体を動かしながら、よいところ、面白いところを見つけて聴く。	【知-①】「天国と地ごく」「かめ」の曲想と、強弱や速度など音楽の構造との関わりに気付いている。 【思-①】「山のま王のきゅうでんにて」の強弱や速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだして聴いている。
1	互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	小さなはたけ	○「小さなはたけ」を、歌詞に合った強弱や歌い方で、声を揃えて歌う。	【技-①】思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。
4	反復や呼びかけとこたえなどが生み出すよさや面白さを感じ取りながら曲を味わって聴き、歌詞や曲想に合った表現を工夫するとともに、強弱の変化を捉えて表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しむ。	山びこごっこ ◎キャンディマン ◆かくれんぼ(共通教材)	○「山びこごっこ」を、声の感じや強弱を工夫して歌う。 ○「キャンディマン」を聴き、呼びかけと答え(旋律と歌詞の模倣)の仕組みでできている部分を聴き取る。 ○「かくれんぼ」を、声の感じや強弱を工夫して歌う。	【知-②】「山びこごっこ」及び「キャンディマン」の曲想と、反復、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 【思-②】「かくれんぼ」の呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 【主-①】反復や、呼びかけとこたえを捉えて表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 2』評価計画(案)

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
2 はくやドレミと なかよし (7時間扱い・6～7月)	(1) 曲想とリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わりに気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能や、ドレミ(音名)で歌ったり、リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と拍やリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わりに気付いている。	○			
			発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能や、階名で模唱したり、リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付けている。	○	○	○	
	(2) 拍やリズムなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、言葉とリズムとの関わりや曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いをもったり、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たりする。	思考・判断・表現	拍やリズムなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、言葉とリズムとの関わりや曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いをもったり、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たりしている。				○
(3) 歌に合わせてリズムを打つことや鍵盤楽器の演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、拍やリズム、階名や鍵盤楽器に親しむ。	主体的に学習 に取り組む態度	歌に合わせてリズムを打つことや鍵盤楽器の演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○	○			

○=本評価規準例における中心的な項目

扱い時数の めやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	曲想と拍やリズムなどとの関わりに気付くとともに、リズムが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、音遊びを通して音楽づくりの発想を得る。	こいぬの ビンゴ (どうぶつクラブで あそぼう)	○「こいぬの ビンゴ」を歌ったり、合わせてリズム打ちをしたりする。 ○拍にのって「どうぶつクラブで あそぼう」の活動をする。	【主-①】 歌に合わせてリズムを打つことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【思-①】 「どうぶつクラブ」の拍やリズムなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。
3	曲想と、リズムや歌詞との関わりに気付くとともに、拍やリズムが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、音遊びを通して音楽づくりの発想を得る。	びよんびよこ ロックンロール (はくに のって、ことばのリズムで あそぼう)	○「全音符」「2分音符」「4分音符」「8分音符」について理解して、「びよんびよこ ロックンロール」を歌う。 ○声で、言葉のリズムのまねっこあそびをする。 ○体から出る音で、言葉のリズムのまねっこあそびやリレーをする。	【知-①】 「びよんびよこ ロックンロール」の曲想と、拍やリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わりに気付いている。 【技-①】 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けている。 【思-②】 拍やリズムなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。
2	鍵盤楽器の演奏に興味をもち、音楽活動を楽しむとともに、階名で模唱する技能や、リズム譜などを見て演奏する技能を身に付ける。	〈楽きでドレミと なかよくなるろう〉 かえるの がっしょう	○鍵盤ハーモニカで音階の練習をする。 ○「かえるの がっしょう」を、輪唱したり輪奏したりする。	【主-②】 鍵盤楽器の演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【技-②】 「かえるの がっしょう」を階名で模唱したり、リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付けている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 2』評価計画(案)

2年 p. 26～27

(コーナー名) (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
(音のスケッチ) 音のかさなりやリズムをえらんで合わせよう (3時間・7月)	(1) 音の重なりや、フレーズのつなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	音の重なりや、フレーズのつなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなど関わらせて気付いている。			○	
	(2) 音の重なりやリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていけるかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。			○	
	(3) 音の重なりを選んで表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、和音の響きや鍵盤楽器に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	音の重なりやリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていけるかについて思いをもっている。			○	
			音の重なりを選んで表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			○	

○=本評価規準例における中心的な項目

学習の流れ／【学習活動に即した評価規準例】
1. 学習で使う音域や使う音などを、実際に音を出しながら確かめる。 2. 全員で一つの音の重なり(一つの和音)を選び、①～④のパートに分かれて、提示されている四つのリズムで演奏する。 【主-①】 音の重なりを選んで表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 3. 四つのパートから一つを選び、教師が提示するリズムをもとに演奏する。 【知-①】 音の重なりや、フレーズのつなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなど関わらせて気付いている。 4. 四人組になり、演奏するパートやリズムの順番などを考えながら、簡単な音楽をつくる。 【技-①】 思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。 【思-①】 音の重なりやリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていけるかについて思いをもっている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 2』評価計画(案)

2年 p. 28～29

(コーナー名) (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
(めざせ 楽き名人) 「かっこう」 「ドレミのトンネル」 (毎時・9月～)	(1) 楽器の音色と演奏の仕方との関わりに気付くとともに、「指くぐり」「指またぎ」の奏法や、思いに合った表現をするために必要な、範奏や伴奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	楽器の音色と演奏の仕方との関わりに気付いている。		○		
			「指くぐり」「指またぎ」の奏法や、思いに合った表現をするために必要な、範奏や伴奏を聴いたりリズム譜などを見たりして演奏する技能を身に付けている。		○		
	(2) 旋律、拍、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	旋律、拍、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。		○		
(3) ドレミで歌ったり演奏したりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、鍵盤楽器に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	ドレミで歌ったり演奏したりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。		○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

学習の流れ／【学習活動に即した評価規準例】
<p>「かっこう」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>歌詞で歌い旋律を覚える。</li> <li>階名で歌う。</li> <li>離れた音の予備運動をする。(「ソミ」「ファレ」)</li> </ol> <p>【主-①】 ドレミで歌ったり演奏したりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>段ごとに演奏する。</li> </ol> <p>【思-①】 「かっこう」の旋律、拍、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。</p> <p>「ドレミのトンネル」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>リズムに注意して階名で歌う。</li> <li>音階の八つの音を演奏するためには、途中で指を継ぎ足す必要があることを理解する。</li> <li>①上行型の練習 ②下行型の練習</li> </ol> <p>【技-①】 「指くぐり」「指またぎ」の奏法や、思いに合った表現をするために必要な、範奏や伴奏を聴いたりリズム譜などを見たりして演奏する技能を身に付けている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>曲全体を通して演奏する。</li> </ol> <p>【知-①】 楽器の音色と演奏の仕方との関わりに気付いている。</p>

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 2』評価計画(案)

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
3 きよくに合った歌い方 (4時間扱い・9月)	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
			思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律や音色などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	旋律や音色などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだして聴いたりしている。	○			○
(3) 曲想を感じ取って表現を工夫したり、旋律や音色などをていねいに聴いたりする活動など興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、様々な音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	曲想を感じ取って表現を工夫したり、旋律や音色などをていねいに聴いたりする活動などに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

○=本評価規準例における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	曲想と旋律や歌詞との関わりに気付くとともに、曲想や歌詞を生かして表現を工夫する学習に興味をもち、音楽活動を楽しむ。	にじのクレヨン	○「にじのクレヨン」の曲想を感じ取ったり、旋律や歌詞の面白さを見つたりしながら歌う。 ○「にじのクレヨン」の曲想に合うような歌声を工夫して歌う。	【知-①】 4分休符の位置や数を手がかりに、「にじのクレヨン」の曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて気付いている。 【主-①】 「にじのクレヨン」や「虫のこえ」の曲想や歌詞を生かして表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
2	自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けるとともに、旋律や音色などが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲想に合った歌い方を工夫したり、曲や演奏の楽しさを見いだしたりして聴いたりする。	◆虫のこえ(共通教材) ◎ながうた「むしの声」	○「虫のこえ」を、歌詞の表現を工夫し、歌声や発音に気を付けて歌う。 ○長唄「むしの声」を、旋律や声の出し方などに注意して聴く。	【技-①】 思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。 【思-①】 旋律や音色などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想に合った歌い方を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだして聴いたりしている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 2』評価計画(案)

2年 p. 34～35

(コーナー名) (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈音の スケッチ〉 どんな音がきこえるかな (2時間・9～10月)	(1) 身の回りの様々な音の特徴に、それらの生み出す面白さなど関わらせて気付く。	知識	身の回りの様々な音の特徴に、それらの生み出す面白さなど関わらせて気付いている。			○	
	(2) 音の高さや長さ、音色、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、それぞれの特徴を捉えて聴く。	思考・判断・表現	音の高さや長さ、音色、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、それぞれの特徴を捉えて聴いている。			○	
	(3) 身の回りの音を探したり聴いたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、生活の中の様々な音に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	身の回りの音を探したり聴いたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			○	

○=本評価規準例における中心的な項目

学習の流れ／【学習活動に即した評価規準例】
1. 教科書の挿絵を一つ一つ見ながら、聞こえてきそうな音を交流する。 2. 校内や、学校の周りで音が聞こえてきそうなところを考える。 【主-①】身の回りの音を探したり聴いたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 3. 実際にその場所へ行き、音探しをする。 【知-①】身の回りの様々な音の特徴に、それらの生み出す面白さなど関わらせて気付いている。 4. 見つけた音を言葉や絵で書き、発表する。 【思-①】音の高さや長さ、音色、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、それぞれの特徴を捉えて聴いている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 2』評価計画(案)

2年 p. 36～39

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
4 音色とリズム (4時間扱い・10～11月)	(1) 曲想と音色など音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、音色に気を付けて楽器を演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と音色など音楽の構造との関わりに気付いている。				○
			思いに合った表現をするために必要な、音色に気を付けて楽器を演奏する技能を身に付けている。		○		
	(2) 音色やリズムなどを聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いたり、歌詞に合った音色を工夫し、どのように表すかについて思いをもったりする。	思考・判断・表現	音色やリズムなどを聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いたり、歌詞に合った音色を工夫し、どのように表すかについて思いをもったりしている。		○		○
(3) 楽器の音色やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、いろいろな打楽器に親しむ。	主体的に学習 に取り組む態度	楽器の音色やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。		○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

扱い時数の めやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	曲想と音色など音楽の構造との関わりに気付くとともに、音色やリズムなどを聴き取り、その面白さを感じ取りながら、曲全体を味わって聴く。	◎ゆかいな 時計	○「ゆかいな 時計」を、ウッドブロックの音色やリズムに気を付けて聴く。 ○「ゆかいな 時計」を、体を動かしながら聴いたり、よいところ、面白いところを見つけて聴いたりする。	【知-①】「ゆかいな 時計」の曲想と、音色など音楽の構造との関わりに気付いている。 【思-①】音色やリズムなどを聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いている。
2	音色やリズムの面白さを感じ取りながら、歌詞に合った楽器の音色を工夫するとともに、音色に気を付けて楽器を演奏する技能を身に付ける。	森の たんけんたい	○「森の たんけんたい」を、曲想を感じ取って歌ったり、歌詞に合う楽器の音を考えたりする。 ○「森の たんけんたい」を、歌詞に合う楽器の音を工夫して、歌に合わせて演奏する。	【思-②】音色やリズムなどを聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌詞に合った音色を工夫し、どのように表すかについて思いをもっている。 【主-①】「森の たんけんたい」の楽器の音色やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【技-①】思いに合った表現をするために必要な、音色に気を付けて楽器を演奏する技能を身に付けている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 2』評価計画(案)

2年 p. 40～41

(コーナー名) (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈こっぼんのうた みんなのうた〉 「夕やけ こやけ」(共通教材)  (2時間扱い・11月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
			思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律やフレーズを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	旋律やフレーズを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○			
	(3) 歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

学習の流れ／【学習活動に即した評価規準例】
1. 曲の気分を感じ取る。 【思-①】 「夕やけ こやけ」の旋律やフレーズを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 2. 歌詞の表す様子を想像する。 【知-①】 「夕やけ こやけ」の曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 3. 歌詞の情景や気持ちを思い浮かべながら歌う。 【技-①】 思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。 【主-①】 「夕やけ こやけ」の歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 2』評価計画(案)

2年 p. 42～43

(コーナー名) (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
(めざせ 楽き名人) 「こぎつね」  (毎時扱い)	(1) 曲想とフレーズなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、手の移動などの奏法や、思いに合った表現をするために必要な、階名で模唱したり範奏を聴いて演奏したりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想とフレーズなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。		○		
			手の移動などの奏法や、思いに合った表現をするために必要な、階名で模唱したり範奏を聴いて演奏したりする技能を身に付けている。		○		
	(2) 旋律やフレーズ、反復を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	旋律やフレーズ、反復を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。		○		
(3) 曲想を生かした演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、鍵盤楽器やドイツ民謡に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	曲想を生かした演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。		○			

○=本評価規準例における中心的な項目

学習の流れ／【学習活動に即した評価規準例】
1. 旋律や歌詞を覚えて歌う。 【知-①】 「こぎつね」の曲想と、フレーズなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 2. 階名唱や鍵盤演奏の準備をする。 3. 段ごとに演奏する。 【技-①】 手の移動などの奏法や、思いに合った表現をするために必要な、階名で模唱したり範奏を聴いて演奏したりする技能を身に付けている。 4. 曲の感じを生かして、楽器で演奏する。 【思-①】 「こぎつね」の旋律やフレーズ、反復を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。 【主-①】 「こぎつね」の曲想を生かした演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 2』評価計画(案)

2年 p. 44～46

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
5 おまつりの 音楽 (3時間扱い・12月)	(1) 曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
	思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。		○				
	(2) 音色やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏の楽しさを見いだして聴く。	思考・判断・表現	音色やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏の楽しさを見いだして聴いている。				○
(3) いろいろな太鼓の音に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、お祭りの音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	いろいろな太鼓の音に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
1	曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	村まつり	○「村まつり」の曲想を感じ取り、歌い方を工夫する。	【知-①】「村まつり」の曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 【技-①】思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。
2	太鼓の音やリズムが生み出すよさを感じ取りながら、演奏の楽しさを見いだして聴くとともに、いろいろな太鼓の音に興味をもち、音楽活動を楽しむ。	◎日本の たいこ	○「日本の たいこ」4種類を聴き、気付いたことや感じたことを話し合う。	【主-①】いろいろな太鼓の音に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【思-①】音色やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏の楽しさを見いだして聴いている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 2』評価計画(案)

(コーナー名) (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
(音の スケッチ) おまつりの 音楽をつくろう (3時間・12月)	(1) 太鼓の音やリズムのつなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつないだりして表現する技能を身に付ける。	知識・技能	太鼓の音やリズムのつなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。			○	
			思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。			○	
	(2) リズムを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、簡単なリズムをつくることを通して音楽づくりの発想を得る。	思考・判断・表現	リズムを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、簡単なリズムをつくることを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもったりしている。			○	
	(3) 太鼓のリズムをもとに音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、和太鼓による音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	太鼓のリズムをもとに音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			○	

○=本評価規準例における中心的な項目

学習の流れ／【学習活動に即した評価規準例】
1. 太鼓のリズムの口唱歌をする。 2. マイリズムをつくる。 3. 「自分の たいこのリズム」を打ってみる。 【思-①】 リズムを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、簡単なリズムをつくることを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもったりしている。 4. 友達とリズムをつなげ、音楽をつくる。 【主-①】 太鼓のリズムをもとに音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 5. グループごとに発表する。(時間があれば一度中間発表し、全体である程度共有して、それを参考にして最終的な発表の場をもつことも考えられる。) 【知-①】 太鼓の音やリズムのつなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。 【技-①】 思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 2』評価計画(案)

2年 p. 48～49

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
6 音楽の ながれ (2時間扱い・1月)	(1) 曲想と音色など音楽の構造との関わりに気付く。	知識	曲想と音色など音楽の構造との関わりに気付いている。				○
	(2) 音色、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	音色、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いている。				○
	(3) 音楽の構造に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、標題音楽やオーケストラの響きに親しむ。	主体的に学習 に取り組む態度	音楽の構造に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○

○＝本評価規準例における中心的な項目

扱い時数の めやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	曲想と音色などとの関わりに気付くとともに、音色、旋律、反復、変化などが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲全体を味わって聴く。	◎そりすべり	○「そりすべり」を、聞こえてくる音に気を付けて聴く。 ○「そりすべり」の旋律を聴き取り、体を動かしながら聴く。 ○「そりすべり」のよいところ、面白いところを見つけて聴く。	【知-①】「そりすべり」の曲想と、音色など音楽の構造との関わりに気付いている。 【主-①】「そりすべり」の音楽の構造に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【思-①】「そりすべり」の音色、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 2』評価計画(案)

2年 p. 50～51

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
7 くりかえしと かさなり (3時間扱い・1～2月)	(1) 曲想と速度や反復など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わり に気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの声や楽器の音を 聴き、声や音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と速度や反復など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わり に気付いている。	○			
			思いに合った表現をするために必要な、互いの声や楽器の音を聴き、声や音を合 わせて演奏する技能を身に付けている。	○	○		
	(2) 反復、音の重なり、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを 感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ 取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもったり、曲の楽しさを見 いだして聴いたりする。	思考・判断・表 現	反復、音の重なり、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを 感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を 感じて取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもったり、曲の 楽しさを見いだして聴いたりしている。	○	○		○
(3) 曲想を感じ取って表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体 的・協働的に学習活動に取り組み、合唱奏に親しむ。	主体的に学習 に取り組む態度	曲想を感じ取って表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体 的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○	○			

○=本評価規準例における中心的な項目

扱い時数の めやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
3	互いの声や楽器の音、旋律や音型の反復と重なり、速 度の変化が生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲 想を感じ取って表現を工夫したり、曲の楽しさを見いだ して聴いたりする。	自動車は 走る ◎しゅっぱつ	○「自動車は 走る」の主旋律を歌ったり、副次的旋律を加えて歌ったりす る。 ○「自動車は 走る」を、楽器を合わせて演奏する。 ○「しゅっぱつ」を、楽器の音や、旋律や速度の変化に注意して聴く。 ○「自動車は 走る」を演奏しながら、自動車の様子を表す。	【知-①】「自動車は 走る」の曲想と、速度や反復など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の 表す情景との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わり に気付いている。 【技-①】思いに合った表現をするために必要な、互いの声や楽器の音を聴き、声や音を合 わせて演奏する技能を身に付けている。 【思-①】「しゅっぱつ」の速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ 取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだして 聴いている。 【主-①】「自動車は 走る」の曲想を感じ取って表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみ ながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【思-②】「自動車は 走る」の反復、音の重なり、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出す よさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想 を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 2』評価計画(案)

2年 p. 52～55

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
8 みんなの音楽 (4時間扱い・2～3月)	(1) 曲想と拍や旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と拍や旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			○
	思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や音、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。		○				
	(2) 音色や音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏したいかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	音色や音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏したいかについて思いをもっている。	○	○		
(3) 曲想を感じ取って歌ったり聴いたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	主体的に学習 に取り組む態度	曲想を感じ取って歌ったり聴いたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				○

○=本評価規準例における中心的な項目

扱い時数の めやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	曲想と拍や旋律、歌詞との関わりに気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	ウンパッパ ◎ティニックリング	○「ウンパッパ」を、拍やその流れにのって歌う。 ○「ティニックリング」の音楽に合わせて、膝打ちや手拍子などで3拍子のリズムを打ったり、「ウンパッパ」を、旋律を重ねて歌ったりする。	【知-①】「ウンパッパ」や「ティニックリング」の曲想と、拍や旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 【技-①】思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。
2	曲想を感じ取って歌ったり聴いたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しむとともに、音色や音の重なりなどが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲想に合った表現を工夫する。	チャチャ マンボ ◎マンボ ナンバー ファイブ	○曲想を感じ取って「マンボ ナンバー ファイブ」を聴いたり、「チャチャ マンボ」を歌ったりする。 ○「チャチャ マンボ」の合奏をする。	【主-①】曲想を感じ取って歌ったり聴いたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【思-①】「チャチャ マンボ」の音色や音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏したいかについて思いをもっている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 2』評価計画(案)

2年 p. 56～57

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「春がきた」(共通教材)  (1時間扱い・3月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声や発音に気を付けて歌う技能や、階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
	思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能や、階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付けている。		○				
	(2) 旋律などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	思考・判断・表現	旋律などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○			
	(3) 歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○			

○=本評価規準例における中心的な項目

学習の流れ／【学習活動に即した評価規準例】
<p>1. 曲想を感じ取る。 【技-①】 思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能や、階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付けている。</p> <p>2. 歌詞の表す様子を想像する。 【知-①】 「春がきた」の曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。</p> <p>3. 旋律の反復やフレーズごとの上昇を意識し、表現を工夫して歌詞で歌う。 【思-①】 「春がきた」の旋律などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 【主-①】 「春がきた」の歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p>

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 2』評価計画(案)

2年 p. 58～59

(コーナー名) (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈音の スケッチ〉 みんなの 音楽時計をつくろう (4時間扱い・3月)	(1) 音型の反復について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	音型の反復について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。			○	
	思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。				○		
	(2) 音楽の縦と横との関係や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもったり、自分たちのつくった音楽と共通するところや、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	音楽の縦と横との関係や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもったり、自分たちのつくった音楽と共通するところや、曲の楽しさを見いだして聴いたりしている。			○	○
(3) 音型を組み合わせる音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽の縦と横との関係に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	音型を組み合わせる音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

学習の流れ／【学習活動に即した評価規準例】
1. 時計の様子を表す音やリズムの特徴を感じ取って、「ウィーンの 音楽時計」を聴く。 2. 旋律が重なり合う面白さを感じながら、「おしゃべり 音楽時計」を歌ったり楽器で演奏したりする。 【知-①】 時計を表す音型の反復などについて、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。 3. 自分たちの音楽時計をつくる。 【技-①】 思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。 4. 中間発表をするなどして、アイデアを交流しながらまとめ、仕上げていく。 【主-①】 音型を組み合わせる音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 5. もう一度「ウィーンの 音楽時計」を聴く。 【思-①】 音楽の縦と横との関係や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもったり、自分たちのつくった音楽と共通するところや、曲の楽しさを見いだして「ウィーンの 音楽時計」を聴いたりしている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 2』評価計画(案)

2年 p. 60～61

(コーナー名) (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
クリスマスソングを歌おう (1時間扱い・随時)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。				○
	(2) 旋律や速度などを聴き取り、それらの生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだして聴いている。	思考・判断・表現	旋律や速度などを聴き取り、それらの生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだして聴いている。	○			○
	(3) 曲想や、歌詞と旋律との関わりを感じ取って聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、季節や行事に関わる歌に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	曲想や、歌詞と旋律との関わりを感じ取って聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○

○=本評価規準例における中心的な項目

学習の流れ／【学習活動に即した評価規準例】
<p>1. 「ジングルベル」を、曲想を感じ取り、声を合わせて歌う。  <b>【技-①】</b> 思いに合った表現をするために必要な、互いの声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。</p> <p>2. 「クリスマスソング モドレー」を、知っている曲と一緒に歌ったり、ハミングや手拍子をしたりしながら聴く。  <b>【主-①】</b> 曲想や、歌詞と旋律との関わりを感じ取って聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>3. 曲想の変化を感じ取り、曲全体を味わって聴く。  <b>【知-①】</b> 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。  <b>【思-①】</b> 旋律や速度などを聴き取り、それらの生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだして聴いている。</p>